

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 11月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 川崎大島教室

保護者等数(児童数) 32

回収数 31

割合 96.875%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	3	0	2	・ご意見なし。	・面談等で来所した際等に、積極的に実際の療育現場を見て頂けるようにする。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	26	0	0	5	・ご意見なし。	・面談等で来所した際等に、積極的に実際の療育現場を見て頂けるようにするとともに、各職員の専門性を活かした対応をしていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	26	2	0	3	・ご意見なし。	・保護者の方が来所される際に、実際に生活空間や導線を見て頂く。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28	1	0	2	・ご意見なし。	・今後も満足頂けるように支援していく。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	30	1	0	0	・細かくされていると感じます。	・今後も満足頂けるように支援していく。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	28	1	0	2	・ご意見なし。	・今後も満足頂けるように支援していく。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	29	1	0	1	・ご意見なし。	・今後も満足頂けるように支援していく。 ・送迎時等で、支援内容を保護者に詳しく共有していく。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	28	2	0	1	・十分されていると思います。	・今後も満足頂けるように支援していく。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	16	1	5	9	・幼稚園に通っているので、この点はなくても構いません。個人的にはお友達と遊んでいる方だと思います。	・今後の検討課題としていく。
保護者 への 説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	31	0	0	0	・契約時にきちんと説明を受けました。	・今後も満足頂けるように支援していく。 ・保護者からの質問があった際にどの職員でも対応できるよう、内容を共有していく。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	30	1	0	0	・ご意見なし。	・今後も満足頂けるように支援していく。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	16	7	3	4	・ご意見なし。	・行っていない方は必要性に応じて検討する。既に家族支援が行われている方は、今後も継続して支援していく。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	30	1	0	0	・送迎時や連絡帳で伝えてくれています。	・今後も満足頂けるように支援していく。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	2	3	1	・帰宅時に教室での様子を伝えてくださるので、それが自宅での接し方の参考になっています。・何かあれば対応して下さるので助かっています。・午前、午後の対応に今まで柔軟に対処していただけた。	・定期的な面談に加えて、TELやLINE等でも支援を継続していく。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	6	11	5	・ご意見なし。	・今後の検討課題としていく。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	27	4	0	0	・利用日の変更柔軟に対応して頂き、助かっています。・何かあれば対応して下さるので助かっています。・午前、午後の対応に今まで柔軟に対処していただけた。	・今後も満足頂けるように支援していく。
17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	3	0	1	・送迎時などで確認できていると思います。	・今後も満足頂けるように支援していく。	

	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	26	1	3	1	・ご意見なし。	・今後も満足頂けるように支援していく。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	28	1	0	2	・ご意見なし。	・今後も満足頂けるように支援していく。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	25	1	3	2	・ご意見なし。	・今後も満足頂けるように支援していく。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	1	0	6	・ご意見なし。	・訓練等の様子について、Instagramや新聞等でも発信していき、より周知を図っていく。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	28	2	1	0	・「明日はこぼんだねー。楽しみすぎるー」とよく言っています。・子どもがとても楽しんで通っています。・休まずに行けていることにビックリしています。わかりやすく楽しいだと思います。・行ってしまえば楽しんでいるが、今は幼稚園が好きで行きたがらないことも。・気分や体力にムラがあり、時々嫌がる時もありますが、楽しそうに帰ってきます。・毎日楽しみにしていて、お迎えの電話が来ると喜んでいきます。	
	23	事業所の支援に満足しているか	31				・利用開始から3ヶ月程でまだ何も言えない部分もありますが、子どもの成長に繋がっていると思います。今後も子どものことを任せたいと思える存在です。・変更等いつも配慮して下さいありがとうございます。・通いだしてから自分のできることが沢山増えました。	

593

42

29

47

83%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 11月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 川崎大島教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	・子どもの人数を見ながら、スペースを考え使用できている。・個別学習やクールダウンのための個室がある。	・スペースごとに何をやる空間なのかを児童に對してより明確に示していきたい。
	2 職員の配置数は適切であるか	3	5	・新人職員が支援や業務に取り組みやすいように、全体でサポートしていくよう努めている。	・配置の基準はクリアしているが、利用児童の状況としては足りない日もある。支援や業務の負担が偏らないように、お互いの声掛けやサポートをより充実させていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	0	・その日の予定や並ぶ場所、片付けるところなどを、絵やイラストを用いて視覚的に分かりやすく表示している。	・空間に物が多いと子どもが混乱してしまう場合もあるため、必要以上に物が出ている状態をつくり出さないように取り組んでいく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	0	・支援後の教室内次亜塩素酸散布や、食事やおやつの前にクロスなどの消毒を毎日都度実施している。エアコンや空気清浄機など定期的に清掃している。	・生活空間の清潔保持の確認をする時間を作り、それに応じた対応をしていく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	・朝礼や回覧などで共有している。・毎日3回のミーティングがある。	・回覧等で周知した情報が流れていかないよう、再確認する機会を設けていく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	・ミーティングで話し合うことがある。・保護者へ評価表を配布している。	・要望に沿って計画案を出し合っており、今後も継続して行っていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	・(本部で)公開している。	・今後も継続して実施していく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1	・未実施。	・他教室の評価結果なども共有しながら、改善に繋げられる部分を検討していく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	・新人研修や、各種スキルアップのための研修が実施されている。	・勤務体制を考慮しながら、より多くの職員が研修に参加しやすい環境を整えていく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	・定期的な面談の他にも、日々の支援等保護者と情報やニーズを共有しながら支援計画の作成にあたっている。	・職員一人ひとりが日常の支援等で感じたことを児発管と共有しながら、より良い支援計画の作成に取り組んでいく。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	・アセスメントシートを活用しながら、児童、保護者の状況の把握に努めている。	・数値化された評価ツールの活用も検討していく。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	・モニタリングを行いながら、それぞれの項目について個別支援計画を立案している。	・今後も継続していく。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	・ミーティング等で職員間での共有をしながら支援にあたっている。・児童一人ひとりにスタンプカードを用いたスモールステップを用いている。	・スタンプカードの内容は児童にも明確にしながら、一緒に達成していけるよう今後も継続していく。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	・毎月プログラム内容について、ミーティング等で職員同士意見交換しながら決定している。	・プログラムの詳細については各担当が中心となっているため、担当者以外も情報共有を密に行っていく。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	・毎月実施のプログラムについては曜日をずらして被りが出ないよう工夫している。・季節や状況に合わせたプログラムになっている。	・プログラム内容は担当を中心に決めるが、様々な職員の意見を取り入れて変化をつけながら取り組んでいく。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	・個別活動と集団活動それぞれについての支援目標を設定しながら、支援にあたっている。	・今後も継続していく。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	・朝礼、昼礼、夕礼を毎日行い、当日の利用児童についての情報を必ず共有している。・現場での役割分担をボードで視覚的に共有も図っている。	・自身の役割以外の部分もサポートし合えるよう声を掛け合いながら、今後も継続していく。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	・各朝礼、昼礼、夕礼にて支援終了後の振り返りを行い、情報の整理や翌日に引き継ぐことなどを共有している。・BANDやLINE等での共有や記録も行っている。	・今後も継続していく。
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	・連絡帳や日報等で正確に記録を残すよう心掛けている。	・今後も積極的に報告を行えるよう職員間で密に情報共有を図っていく。	

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	・半年ごとのモニタリングで支援の達成状況や、その児童に即したものが確認を実施している。	・日々の支援内容等積極的に意見を出し合えるよう、より環境を整えていく。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	・出席依頼があるときには積極的に参加している。	・実施時は参加していない職員にも情報共有を積極的に行っている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	0	・療育センターや保健師と密に連携をしながら支援にあたっている。	・今後も積極的に情報共有を図っていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	2	・現在該当児童の利用はないが、その場合は保護者より医師の指示を伝えて頂けるようにしている。緊急時は指定の病院へ搬送するようにしている。	・今後も継続していく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	2	・現在該当児童の利用はないが、その場合は保護者より医師の指示を伝えて頂けるようにしている。緊急時は指定の病院へ搬送するようにしている。	・今後も継続していく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	・必要に応じて面談や支援の様子を見学を実施している。	・今後も継続していく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	・必要に応じて面談や支援の様子を見学を実施している。	・保護者とも連携して各学校との情報共有が出来るように検討して良い。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	3	・機会があれば積極的に活用するようにしている。	・多くの職員に様々な施設の研修が行えるよう検討していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	5	・未実施。	・機会を設けられるよう検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	6	・未実施。	・会議などへの参加を検討していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	・連絡帳や送迎時の対応にて、その日の活動の様子等情報共有している。	・情報共有が適切に行われているか、職員間で振り返る機会も設けていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	2	・児発管中心に考え、職員もアイデアを出して支援を考えている。・スタンプカードの目標を親子で頑張る目標にしている。	・今後も継続していく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	・契約や見学の際に、管理者より適切に説明を行っている。	・今後も継続していく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	・支援計画作成後は必ず実施し、同意後はコピーを保護者へ渡している。	・今後も継続していく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	・連絡帳、TEL、LINEなどで都度対応、もしくは面談を実施している。	・保護者から相談を受けた職員は適切に管理者に報告し、対応している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6	・未実施。	・必要に応じて検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	・面談の実施やTEL、LINE等で迅速な対応を心掛けている。	・保護者から相談を受けた職員は適切に管理者に報告する。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	・毎月新聞や翌月のプログラム予定表をLINEで発信している。・定期的にブログやInstagramへの投稿で、活動内容の発信を実施している。	・今後も継続していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	・新聞の発行やSNSへの投稿に際しては、必ずダブルチェックを実施している。	・今後も継続していく。

	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	・国籍や文化の違いもあるため、一人ひとりに合った言葉かけや対応をしている。	・今後も継続していく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6	・未実施。	・機会を設けられるよう検討していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1	・係を中心にミーティングなどで実施している。	・今後も継続していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1	・毎月プログラムとして、災害時の避難訓練を実施している。・外出プログラムとして防災センターでの体験を実施している。	・プログラムでの避難訓練に加えて、消防局主催のイベントも近場で行われているため、可能な限り参加していきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	1	・契約時に保護者と確認し、ミーティング等で職員間の共有も行っている。	・今後も継続していく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	・アレルギーについて、すぐ分かるようボードや表示にしている。・食育プログラムの際は全体で確認するようにしている。	・今後も継続していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	・ヒヤリハット事例があった際は、朝礼、屋礼、夕礼で共有するとともに、記録に残している。	・今後も継続していく。小さなことでも報告し積極的に挙げられるようにしていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1	・定期的に研修を実施している。	・今後も継続していく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	1	・身体拘束は行っていない。	・不穏な時にはクールダウンの部屋等を活用しながら、落ち着ける環境を整えていく。